

# みんなで逃げる みんなで助かる

日本一の健康長寿県構想  
県民が健康で安心して暮らすこと、支え合いながら生き生きと暮らすために

災害時要配慮者の避難支援の手引き

高知県



# ごあいさつ

東日本大震災では、これまでの想定をはるかに上回る巨大な津波が発生するなど、甚大な被害をもたらされました。高齢者や障害のある方を含め、こうした方々を支援する立場にあった消防関係者や民生委員などの方々の中にも、数多くの犠牲者が出ております。他方で、一命はとりとめたものの、現在もなお、長期にわたる避難生活を余儀なくされている方々も多数いらっしゃいます。こうした状況の中、被災地では、避難誘導や安否確認、避難所の運営などといった、災害から身の保全を図るための様々な場面で、日頃からの地域における支え合いや助け合いが大きな力となったことが数多く検証されており、改めて“地域の絆”の大切さが認識をされています。

こうした中、本県では、現在、第2期の南海トラフ地震対策行動計画に基づき、命を守る対策を最優先に、南海トラフ地震対策の加速化と抜本強化に全力を挙げて取り組んでいるところですが、国においても、昨年6月には災害対策基本法が改正され、避難行動をする際に、支援を必要とされる方々の名簿作成が市町村において義務づけられるなど、その対策が強化されています。

県では、平成19年3月に「災害時要援護者支援の手引き」を作成し、災害時要援護者名簿や避難のための個別計画の作成などの取組を積極的に支援してまいりましたが、このたびの東日本大震災の教訓や、南海トラフ地震の新たな想定、あるいは「南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」をはじめとする国の大規模災害などへの対策強化に向けた取組などを受けまして、この手引きを全面改訂することといたしました。

本県では、「日本一の健康長寿県構想」を策定し、県民がともに支え合いながら生き生きと暮らせる『高知型福祉』の実現に向けた取組を進めているところであり、取組を進める際には、災害に強い地域づくりといった視点も重要であり、そのためには、何よりも日頃の人と人のつながりを大切にしたい、顔の見える関係づくりがこれまで以上に強く求められます。

このため、県といたしましても、今後は、これまでの地域福祉活動の取組と南海トラフ地震に備えるための防災・減災対策の取組を一体のものとして位置づけ、相互の連携強化を図るなど、精一杯の安全・安心な地域づくりに取り組んでまいります。

県民の皆様には、この手引きを是非ご活用いただき、災害から命を守る活動に、ご自身、ご家族はもとより地域をあげて、これまで以上に取り組んでいただきますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成26年3月

高知県知事 尾崎 正直

# もくじ

知 っ て い た だ き た い こ と	はじめに .....	1
	手引きの目的 .....	2
	<b>第1部</b>	
	手引きの構成 .....	3
	手引きの使い方 .....	4
	手引きの登場人物 .....	5
	高知県が目指している姿について .....	6
	取組の背景 .....	7
	高知県の対策 .....	8
	支援を必要とする方について .....	9
	なぜ地域で支え合うことが必要なのか — 共助 .....	11
	みんなが自分のできることをしよう — 自助 .....	12
	始めてみよう — 自助 .....	13
	始めてみよう — 共助 .....	14
取 り 組 ん で い た だ き た い こ と	<b>第2部</b>	
	みんなで逃げる、みんなで助かるために.....	15
	安全安心な地域づくりは、ここからスタートです .....	17
	ステップ1 「名簿」をつくる .....	19
	地域でお互いのことを知る .....	21
	ステップ2 「個別計画」をつくる .....	25
	地域で避難のことを考える .....	27
ステップ3 「訓練」する .....	37	
取り組んでいただきたいこと .....	39	
地 域 づ く り 安 全 安 心 な	<b>第3部</b>	
	共助力のアップ — みんなで支え合う安全安心な地域づくり .....	41
	災害に強い地域づくりは、日頃の見守り・支え合いから始まる .....	43
	日頃からの関係づくりが大切です.....	45
みんなで学べば、地域力も防災力も同時にアップ .....	47	
災 害 発 生 時 の 対 応	<b>第4部</b>	
	災害が起こったら.....	49
	避難生活支援 .....	53
	支援が必要な人の特性に応じた対応 .....	57